



区のおしらせ

令和5年(2023年)

8/15

No.1893

毎月1日・15日
25日(地域版) 発行

せたがや

SETAGAYA

戦争の記憶を受け継いで 語り合おう 平和な未来を

8月15日は終戦記念日です。
過去の戦争の記憶を受け継ぎ、
平和の尊さを多世代で学びませんか。

☎ 平和資料館
☎3414-1530 ㊚3414-1532

5歳の時に世田谷区淡島での空襲を体験した丹後省三さん(写真右)。平和資料館のある世田谷公園で大学生の池水さん(写真左)と語り合いました。



名誉区民が語った
戦争体験パネルを
展示しています



中川李枝子さん
(児童文学作家)

小学3年生の時に
縁故疎開をしました

「戦争が続くうちに、両親の顔から笑顔が消え、表情がどんどん険しくなっていました」



美輪明宏さん
(歌手・俳優・演出家)

10歳の時に
長崎で被爆しました

「美しい音楽や芸術を楽しむことができるのも、愛と平和があってこそです」

平和資料館 (愛称: せたがや未来の平和館)

ライブラリー



戦争体験のインタビューを「語り部DVD」に収録し、貸出も行っています。

所在地/池尻1-5-27 世田谷公園内
開館時間/午前9時～午後5時
(入館は午後4時45分まで)
休館日/毎週火曜(祝日の場合はその翌日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

8月15日(火)は臨時開館します ㊚HPQ 141171



詳しくはこちら
(区のホームページ「平和資料館」)

大学生によるトークイベント



大学での演習



昭和女子大学の歴史研究のプロジェクトや、駒澤大学の演習に活用されました。

主な内容 ▶ マイナポイント第2弾の申請期限は9月末までです…2面 | 区長へのメールから(区政へのご意見)…3面 | 東京都シルバーパスの一斉更新のご案内…8面



世田谷区長
のぶと
保坂展人

平和の大切さを
つなげるために

ロシア軍による侵攻から約1年半、いまだウクライナでは激しい戦闘が続いています。戦火が激しくなるとともに、大型ダムが決壊やザポリージャ原発周辺にわたる影響が懸念される事態に、心を痛めています。ロシアの撤退と即時停戦を求めます。

日本でもかつての戦争を振り返る夏がやってきました。戦況が思わしくない1943年(昭和18年)、当時の明治神宮外苑競技場で行われた「出陣学徒壮行会」から80年を迎えようとしています。学業を離れて、戦地に赴く学生たちは新兵となり、多くの若者たちが未来を生きたことなく戦死していきました。特攻隊員として空や海上に散った若者たちに、毎年追悼と鎮魂の祈りをささげていますが、戦争の記憶が薄らいでいる今こそ次世代に平和を語り継ぐ時だと思えます。

1985年(昭和60年)、区は「平和都市宣言」を行い、戦後70年にあたる2015年に平和資料館を開設しました。上記のように大学生などの若い世代が、戦争体験に耳を傾けて、積極的に活躍をしています。世代を超えて平和の尊さを語りあえる資料館です。平和について思い、考えるために、夏休みに訪れてみませんか。